

頑張る企業を応援します！

中小企業応援団

愛知県信用保証協会 × 中部経済新聞



掲載日 2022年4月18日

有限会社いけだ自動車

国産旧車の販売店として、愛好家の間で全国に知られる有限会社いけだ自動車。2021年7月に現地に移転。店舗を拡張し、より多くの車種の取り扱いが可能となり整備体制も充実した。現在とこれからの取り組みを代表取締役社長 の池田滋幸氏に話を聞いた。

Company Data

社名：有限会社いけだ自動車
代表者：池田滋幸
住所：安城市柿碓町勘定 29 番地 1
電話：0566-70-8300
URL：<https://antiques-car.jp>
紹介金融機関：愛知県中央信用組合



幼稚園の先生から整備の道へ

当社の歴史は、自動車整備士だった私の父（池田滋彦）が勤め先であったモータースを事業承継したことから始まりました。現在の社名「有限会社いけだ自動車」に変更したのは、1996年のことです。

私は幼稚園で体育の先生として勤務していましたが、35歳のとき（2007年4月）に当社に入社し、現場で経験を積みながら自動車整備士の資格を取得しました。

その後、当社は整備業のほか中古車市場に参入することになりました。他社と同じような中古車を販売するだけでは差別化は難しいと考え、当時根強い人気のあった国産の旧車も取扱うこととして、販売だけでなく修理なども手掛ける店舗「アンティークス」を2012年にオープンしました。

そして、2021年7月に現地に移転したことで、中古車販売や大型車両の修理、車検整備などが強化できるようになりました。

旧車の部品を図面から

現在の当社主力業務は、生産から 30 年以上経過した旧車を使い続けられるように整備して販売することです。旧車は、部品がすでに製造終了していることも珍しくありませんが、当社ではこれまで培ってきた独自のネットワークのもとで旧車の部品を供給できる体制を維持しています。部品を供給してもらう先との協力体制を構築しているため、図面から起こして部品を製造できる場合もあります。当社ではほとんどの国産メーカーに対応しており、特にトヨタ車については、100%供給を可能としています。



また、こうした独自のネットワークのほか、当社には旧車の整備経験が豊富な 70 代のメンバーが 2 人在籍しています。こうしたベテランの経験を若手社員に承継していくことも自分の役割の一つだと考えています。

当店で販売してきた旧車としては、トヨタでは初代クラウンや 1600G T などがあります。ダイハツではシャレード・デ・トマソ、三菱自動車ではコルトギャラン、ランサー E X、スバルのレックス、スズキのキャリートラックなどがあります。これまで 250 台以上をこれまで販売してきました。

旧車の販売を行うにあたって面白いところは、値段がないものに値付けしていくため、新車と異なりプライスリーダーになることができる点です。旧車は極端に台数が増えるものではありませんが、これまで保有していた高齢者などが手放すケースもまだまだあると想定されます。

今後も、当社のネットワークを生かして、顧客の「乗り続けたいをかなえる」お手伝いをしていきたいです。

コロナ禍で増えるメンテナンスにも対応

当社では、車両販売や整備のほかにも自社で車検を実施しています。今では大型車両も含め年間約 600 台の車検を実施し、管理顧客は 1,000 人以上になります。特に、ここ最近ではコロナ禍の影響もあり、不特定多数の乗客が利用する公共交通機関を敬遠して、車に乗る機会が増えています。そのため、車のメンテナンスや故障への対応も増えており、整備に対するニーズが増加しています。また、これを機会に車の買い替え需要も高まっていると実感しています。

休日に車好きが集う場所に

将来の目標は、当店を車好きが集まるような店にしていくことです。例えば、旧車好きが集まる週末限定のイベントを開催し、車好きが友達を連れてきたくなるような憩いの場にしたいと考えています。

今年4月には「アンティークス」が設立10周年を迎えます。旧車という狭い世界ですが、車好きに特化したモータースとして、勝負できるようにしていきたいと思っています。また、メンテナンス業務においては、

地域の産業を支えている運送会社をサポートし、自動車産業が盛んな西三河地域と共に歩んでいけるようにしていきたいです。

私は高校まで剣道部だったこともあり「精進する」を大切な言葉として大事にしています。物事をまじめに取り組むことは当然のこととして、旧車にまっすぐに向き合う姿勢をこれからも発信し続けていきたいと考えています。

